



7月30日(日)

日野川に腕自慢集結 第24回きしもと鮎釣り大会

野川漁業協同組合岸本支部が主催する、鮎釣り大会が7月30日(日)、伯耆町役場本庁舎裏の日野川を会場に開催され、県内外から集まった釣り人57人が、自慢の腕を競いました。

この大会は、楽しく川を守るとともに、美しい地域環境を育てることを目的に、毎年開催しています。

出場者は、上流から下流まで思い思いの場所に散らばり、竿先に神経を集中させ、鮎が食いつく瞬間をじっと待ちました。

優勝は、決勝で6匹釣り上げた米子市の田中優作さん。田中さんは、この日もっとも大きい25・2cmの鮎を釣り上げ、優勝と大物賞のダブル受賞となりました。

なお、この大会で出場者が釣った鮎は伯耆町社会福祉協議会に寄贈されました。



▲あたりを待つ出場者たち



▲大会で釣った鮎は伯耆町社会福祉協議会に寄贈されました

7月28日(金)～31日(月) 体験交流で逞しく 沖縄県読谷村・伯耆町教育交流

成26年に教育協定を締結した沖縄県読谷村に、7月28日(金)から7月31日(月)まで、高校生リーダー2人と小学生12人の交流団が訪問しました。

初日は、鳥取県が建立した「因伯の塔」を訪れ、参加児童で作成した千羽鶴と花束を手向けました。その後、読谷村渡慶次地区の公民館で歓迎交流会に参加し、地域の方々から温かい歓迎を受けました。

滞在中、子どもたちは民泊先の家族の人たちと一緒に海水浴や、琉球ガラス作りなど、沖縄でしかできない貴重な体験をしました。

読谷村との

交流事業は平成27年から行われており来年2月には、渡慶次地区の子供たちを伯耆町で受け入れ、スキー体験などの交流事業を予定しています。



▲因伯の塔に千羽鶴と花束を手向け、平和を誓います

8月15日(火) 新成人119人の新たな誓い 平成29年度伯耆町成人式

伯耆町成人式を8月15日(火)、鬼の館で開催し、今年成人を迎える119人のうち92人が出席しました。新成人たちはスーツやドレスといった華やかな装いで、友人との久々の再会を喜びながら、式に臨みました。

式では、町長ら関係者が祝辞を述べ、当時の溝口中学校3年1組担任・寺澤幸司さんは「これから、いろいろな経験をし、様々な人と出会う中で、刺激を受けながら立派な社会人としてやってほしい」と、かつての生徒たちにエールを贈りました。

また、今年度の新成人代表・三島祐毅さんが「感謝の気持ちと新成人の決意を忘れず、優しくたくましく生きていきます」と誓いの言葉を述べました。

式の終わりに

は、鳥取県西部を中心に活動されているアーティスト、森田さやかさんのトークライブが行われ、歌とトークで新成人の門出を祝福しました。



▲新成人を代表して誓いの言葉を述べる三島祐毅さん

8月15日(火)

恒例のお祭りで楽しむ夏の夜 第54回きしもと豊年盆踊り花火大会

盆の恒例行事となった、きしもと豊年盆踊り大会が8月15日(火)、岸本中学校グラウンドで開催されました。

当日は開始前まで降り続いた雨のため、グラウンドの状態が悪く、盆踊りは中止となりましたが、会場を取り囲むように屋台が立ち並び、子ども神輿や新企画のクイズ大会などが行われ、多くの来場者で賑わいました。

「クイズ伯耆王」と題されたクイズ大会では、伯耆町に関するクイズが出題され、参加した小中学生らは正解が発表されるたびに、大きな歓声をあげてイベントを楽しんでいました。

祭りのフィナーレを飾る花火大会では、打ちあがる花火に合わせて、和楽衣箱のパフォーマンスが披露され、観客は花火と音楽のコラボレーションを楽しみました。



▲上手にすくえるかな



▲初代クイズ伯耆王は誰の手に

8月20日(日)

ジュニアアスリートの熱い戦い 第23回オールジャパン ジュニアアスロンin伯耆

小さなアスリートたちによる鉄人レース、オールジャパンジュニアアスロンが8月20日(日)、伯耆町総合スポーツ公園で開催されました。

会場には、県内はもとより、遠くは東京都や福岡県など、全国から約250人の選手が集まりました。また、彼らの挑戦を支えようと、2000人のボランティアも参加しました。

レースは小学校低学年・中学年・高学年、中学生、リレーの5部門で争われ、選手はスイム・バイク・ランの3種目に挑戦し、ゴールを目指しました。

「前回より順位を上げるぞ」「完走めざして頑張りたい」などの目標を胸にレースを戦い抜いた選手たちへ、ゴールで待っていた家族や観客から温かい拍手が送られました。

なお、この大会は、スポーツ振興くじottoの助成を受けて実施しています。



▲ゴールを目指してランに挑戦

8月27日(日)

音楽で会場がひとつに 第13回伯耆町民音楽祭

内の音楽グループが日頃の練習の成果を発表し、新たな発見や交流を深めることを目的として、伯耆町民音楽祭が8月27日(日)、鬼の館で開催されました。

伯耆みらい元氣太鼓で幕を開けた音楽祭は、吹奏楽、合唱、大正琴、バンド演奏と色々なジャンルの全38曲が演奏されました。男女問わず、小さな子どもから高齢者までの参加があり、来場者は、それぞれ特色のある演奏に耳を傾け、大きな拍手を送っていました。

フィナーレでは

出演者、来場者全員で唱歌「ふるさと」を合唱し、音楽に包まれた楽しい一日となりました。



▲岸本中、溝口中吹奏楽部合同演奏



▲大正琴の優しい音色が会場を包みます